

# 横浜市地震対策 ～自助共助の促進～

2021年2月18日  
横浜市危機管理室

## 横浜市（令和2年4月1日時点）

人口:3,753,771人 / 18の行政区

世帯数:1,723,409世帯

自治会加入世帯:1,226,969世帯

自治会加入率:71.2%

# 今後30年以内に震度6弱以上の 揺れに見舞われる確率

県庁 所在地 の名称	30年以内 震度6弱以上確率（％）
	2018年
横浜	82%

2018年 地震調査研究推進本部  
「全国地震動予測地図2018年版」  
参考資料より抜粋

# 地震被害想定

## 元禄型関東地震による新たな被害想定

- 死者：3,260人
- 避難者数：577,000人
- 火災による焼失棟数  
全焼：77,700棟
- 建物倒壊等による被害  
被害総数：112,000棟
- 津波による死者数：595人  
(慶長型地震を採用)



（2022年度の目標）

## **基本目標：被害を最小限に抑える**

**目標 1：死者数50%減少**

（約3,260人から約1,630人減少）

**目標 2：避難者数40%減少**

（約577,000人から約230,800人減少）

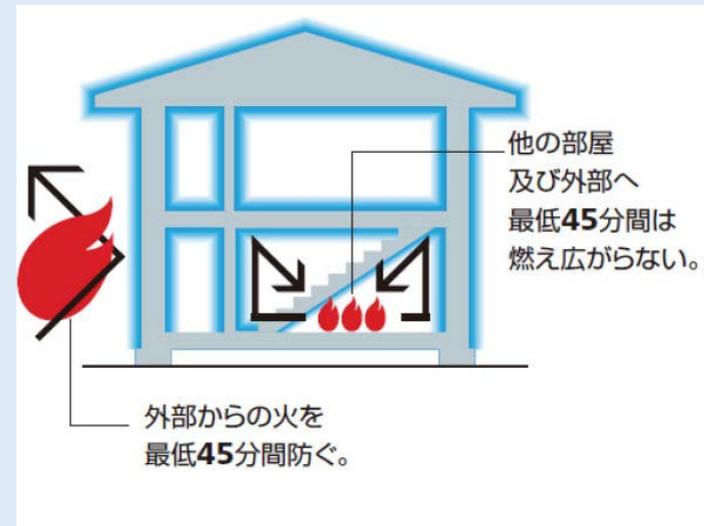
**目標 3：建物被害棟数（全壊・焼失）50%減少**

（約112,000棟から約56,000棟減少）

（注）このほかに発災時の混乱を抑え、市民の皆様の命を守ることや被災者の支援と早期復興を図ることも基本目標として掲げています。

# 地震防災対策の強化

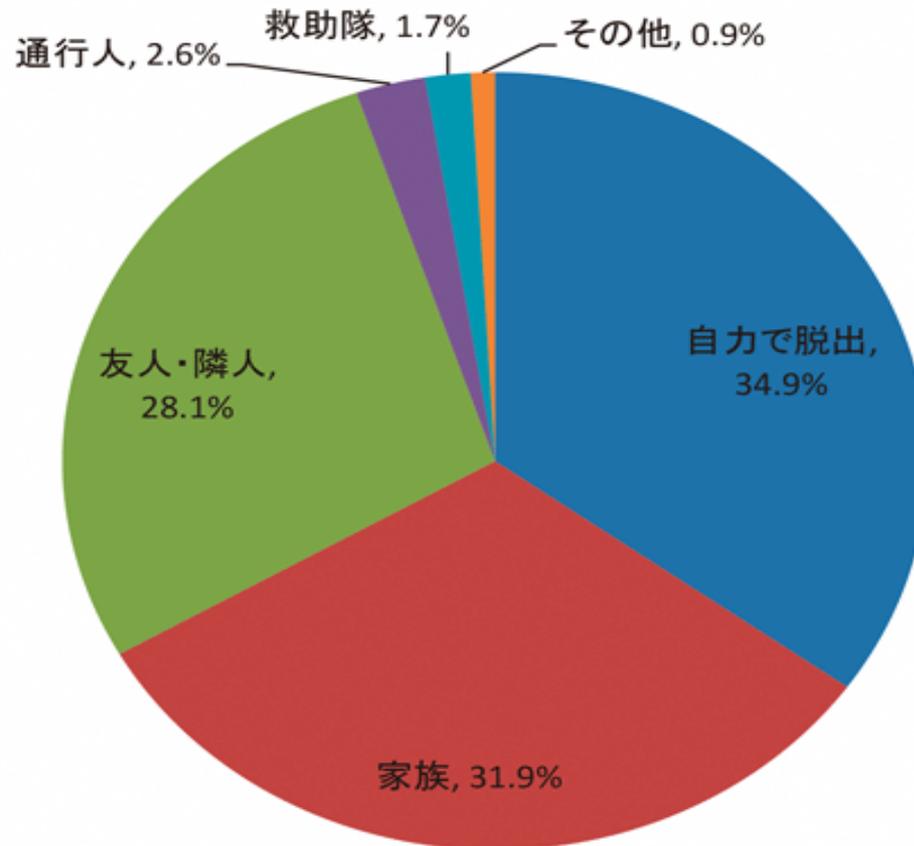
## ① 地域防災力・消防力向上施策 感震ブレーカー、初期消火器具設置補助



## ② 防災まちづくり施策 建築物の不燃化

→ 重点対策地域において、「耐火建築物」又は「準耐火建築物」とする防火規制と工事費等の補助制度の導入 など

# 自助・共助の重要性



標本調査：(社) 日本火災学会 (1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」参照

# 自助・共助の重要性

東日本大震災を契機に自助・共助の重要性を改めて認識

**よこはま地震防災市民憲章**  
(平成25年3月11日制定)

自助・共助の必要性・重要性を市民に啓発することを目的に市民検討を経て市民と行政が連携し策定

**「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」**  
(平成25年9月20日施行)

市民及び事業者の「自助・共助」の役割を明らかにすることを目的に制定  
※議員提案による

# 自助・共助の重要性



よこはま地震防災市民憲章  
～ 私たちの命は私たちが守る ～

- ・私と大切な人の命を守りたい
- ・周りのためにできることが必ずある
- ・頼みの行政も被災する。

大地震で生死を分けるのは、運・不運だけではない。また、自分で自分を守れない人がいることも忘れてはならない。私は、私自身と周りの大切な人たちの命を守りたい。  
だから、私は考える。今、地震が起きたら、どう行動しようかと。



不安の中の避難生活。けれどみんなが少しずつ我慢し、みんなが力を合わせれば必ず乗り越えられる。

た

## 自助・共助の大切さを訴え

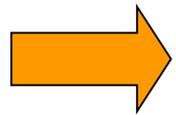
身

守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。多くの犠牲者のためにも、このことを風化させてはならない。

だから、私は次世代に伝える。自助・共助の大切さを。

# 自助・共助の重要性

横浜市で対策をたてているが行政も被災する。  
行政における災害対応のみでは限界がある。



**自助・共助といった自主的な活動が大事**



# 日ごろの備え：備蓄

## 食料や水を、最低3日分備蓄

食料品：クラッカーなど  
飲料水：1人3日分で9リットル  
トイレパック：

凝固剤と処理袋  
など



乳幼児や要介護者がいるなど、  
ご家庭の状況により必要な備えを

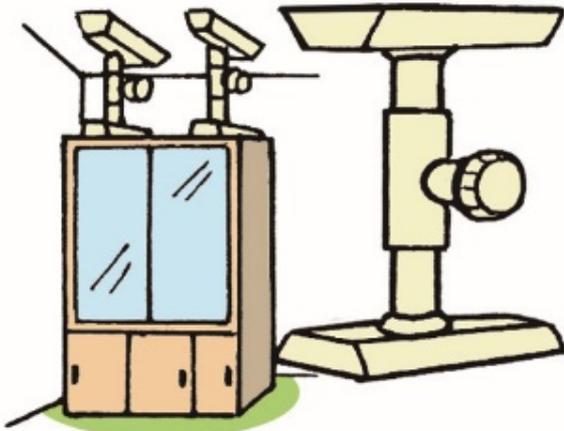
# 日ごろの備え：家の安全対策

## 家具の転倒防止・・・

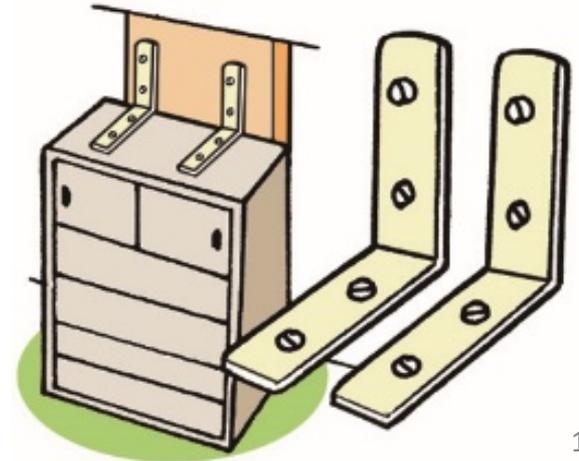
地震が発生した際に、家具の下敷きになったり、逃げ道がふさがれたりすることがある。

転倒防止器具の設置や安全な家具の配置をするなどの取組が必要。

突っ張り棒



L字金具



# 防災・減災推進研修

## 【基礎編】

- ・ 講義( 横浜市の防災対策等 )
- ・ 事例紹介( 実践的な自主防災活動紹介 )
- ・ グループワーク( 地域特性を活かした行動目標を考える )

## 【応用編】

- ・ 基礎編受講者の更なるレベルアップ研修
- ・ 地域の自助・共助の実践方法を学ぶ。

## 【支援編】

- ・ 地域にアドバイザーを派遣
- ・ 地域の特性や住居種別に応じた研修実施

## 【事例発表会】

- ・ 地域における防災・減災の取り組み状況を発表
- ・ 講師を招いての講演会も実施

## 事例発表会における発表事例：地域に防災知識を広める取組

瓦礫の上を歩く体験



搬送訓練



初期消火訓練



心肺蘇生法訓練



# ～自助・共助推進の中核施設～ 横浜市民防災センター

## 【体験ツアー】

- ・ 災害シアター
- ・ 地震シミュレーター
- ・ 火災シミュレーター
- ・ 減災トレーニングルーム
- ・ 横浜ハザードマップ
- ・ 防災ライブラリー



## 【防センアカデミー】

要援護者対策や女性の視点を踏まえた対策など、広く市民がテーマ別に防災を学ぶことができる防センアカデミーの実施

**ご清聴ありがとうございます。**